

計画者	特定非営利活動法人 かむい 協力 林野庁GSS				
担当者	氏名	濱田 耕二		電子メール	koji-hamada@npokamui.org
				電話番号	080-6098-3543
対象箇所	北海沢渡渉点				
登山道 管理水準	保全対策ランク	A・B・ ③ ・D		利用体験ランク (大雪山グレード)	1・2・ ③ ・4・5
作業の 目的	年々雨水等で崩れてきていた場所でしたが、今年の7月の豪雨の影響もあり大きく崩れ登山道も水路も洗堀されたので、登山道は木柵土留めを行い修復し、登山道上部で水切りを施工し水道と人道を分散させ水道が洗堀されないように土嚢を使い水路を形成し水を誘導する。				
利用する工 法	分散排水工	床止工		土留工	マルチング工
	路面処理工	段差処理工		植生基盤工	その他()
作業予定日 時又は期間			参加予定人数	5名	
			参加者内訳	参加者の一般公募 … 実施する ☒ 実施しない ☐	
安全対策 (保険の適用、 連絡網の整備 等)	かむい職員労災を適用 林野庁GSS労災を適用				
主な資材と その調達 (予定)	資材	数量	調達方法		
	丸太180cm	10本	現地採取／搬入(計画者の自己資金 ・寄付・その他)		
	カスガイ	30本	現地採取／搬入(計画者の自己資金 ・寄付・その他)		
	土嚢	50袋	現地採取／搬入(計画者の自己資金 ・寄付・その他)		
	土砂	1.5t	現地採取／搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)		
	石材	0.5t	現地採取／搬入(計画者の自己資金・寄付・その他)		
道具の貸し出 し希望 (自然保護官 事務所・森林 管理署)	物品	数量	希望先	貸出予定日時	返却予定日時
位置図(地形図、国立公園の公園計画図、国有林又は道有林の施業計画図など)					
					
事務局記入欄					
国立公園	保護規制計画:				
	利用施設計画:				
	事業執行者:	担当部署:			
土地所有	国有林・道有林・その他()		担当部署:		
天然記念物	該当あり・該当なし		担当部署:		
備考					

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

土留めには丸太と石材を使用して、登山道を確認する、水路が掘れ下がらないように土嚢で水路を形成する
また登山道上部に水切り施工を行い、水路に誘導する。

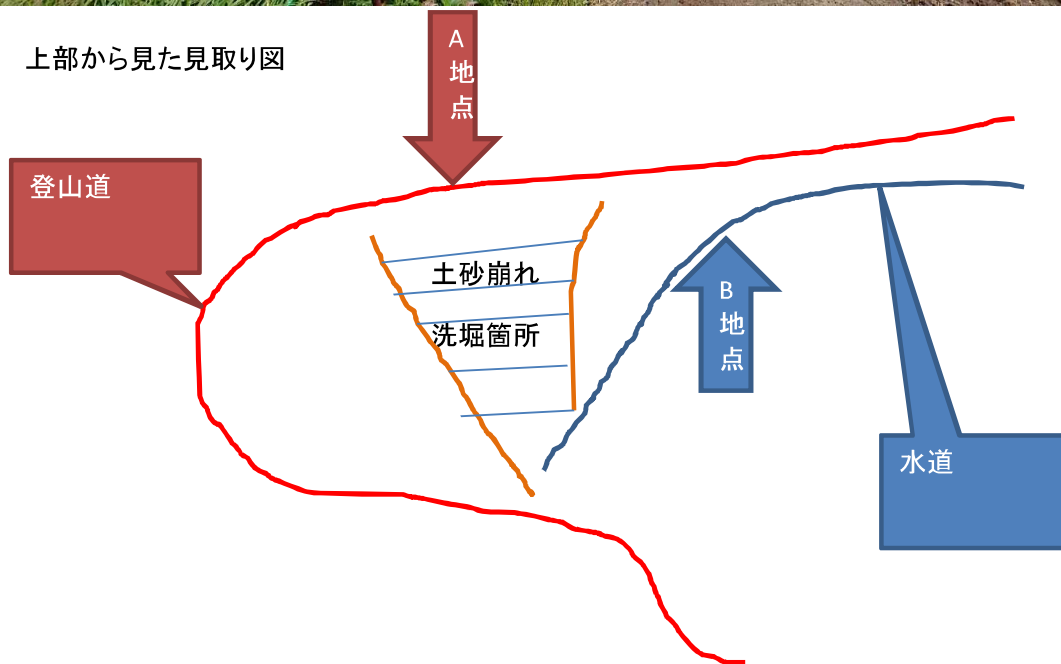
現在の登山道の状況

登山道の崩れ、洗堀箇所をA地点とする。

流水の道、洗堀箇所をB地点とする。



上部から見た見取り図



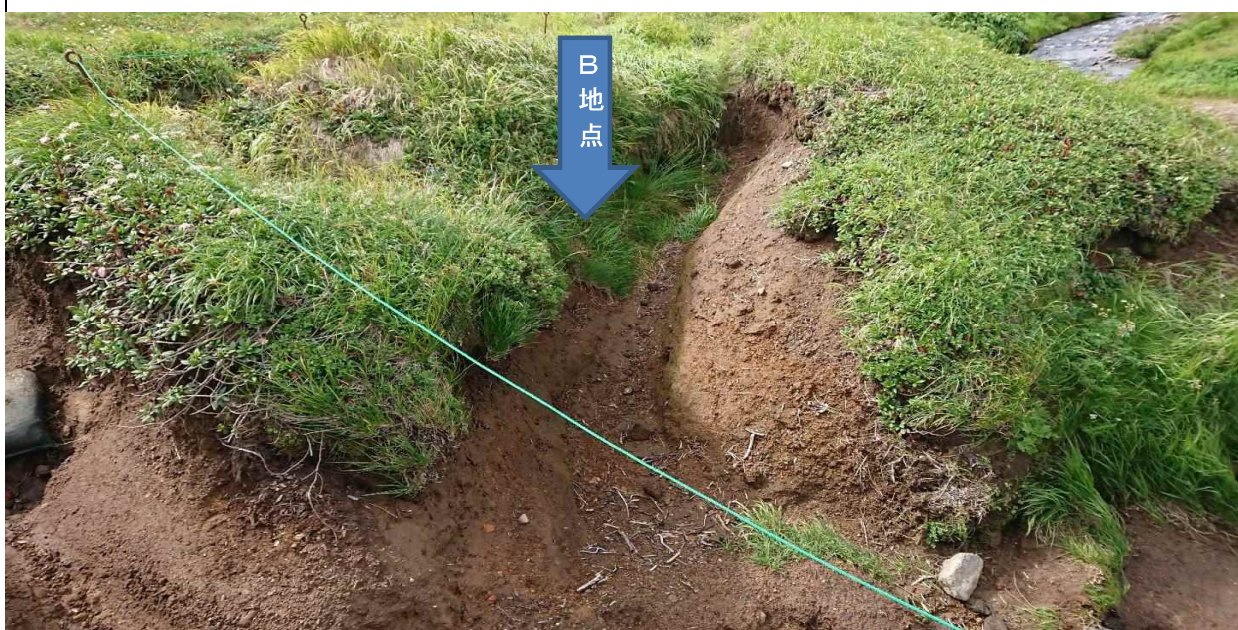
備考

土砂は川の淵に体積したものを使用して土嚢に詰めて、積み上げる。
砂の使用量は推定で土嚢に50袋で1.5tと考えている

土

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

土砂崩れ、洗堀箇所



備考

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

水切りを施工する、丸太を登山道地面に掘らずにべた置きして前後を石材にて動かないように固定する。
また登山者が歩くのにハードルとなる場合はステップを作るなどして配慮する。

施工① 導流工設置



課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

木柵土留めを行い、石材や土嚢を詰めて登山道を確保する。

崩れて落ちた植物は2段目3段目の土留めに植え込み植生回復を促す。

施工② 木柵土留め工



備考

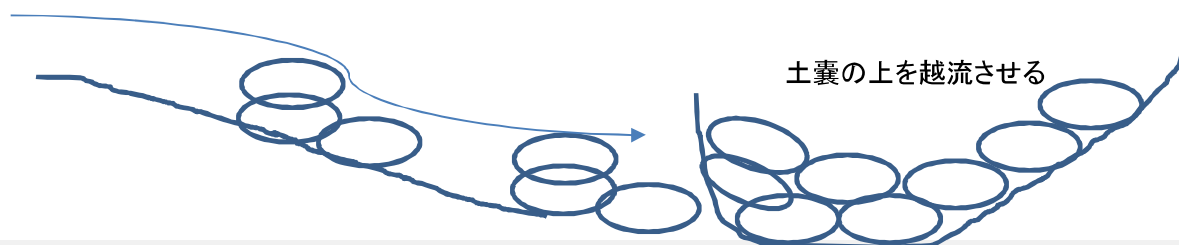
課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

施工② 木柵土留め工



縦断面図

横断面図



越流させた下にも水たたきを設置

課題(問題点・作業の必要性)／ねらい・目標

右側から流れてきた水で左側の法面を洗堀されないように木柵及び土嚢で護岸を行う。
その下部には土嚢で土砂貯めのプールを作り真ん中に低い所を作り越流させる。

施工② 木柵護岸及び土嚢土砂留め



北海沢

備考